土佐清水市姉妹都市友好協会
会　報

ジョン万 ニュース

VOL.3

「土佐清水市姉妹都市友好協会」会報第3号
平成16年4月30日
発行:「土佐清水市姉妹都市友好協会」
〒787-0392　高知県土佐清水市天神町11-2
TEL　0880-82-1111　FAX　0880-82-2882
e-mail : kikaku@city.tosashimizu.kochi.jp

ジョン万ノート

ジョン万に関するエピソードや話題などを紹介します。

万次郎と勝海舟

海舟が、何時、だれの紹介で万次郎と識り合ったかは定かではない。（中略）いずれにしても、万次郎が海舟に乞われて咸臨丸に乗り組んだのは確かである。

渡米前、アメリカの国情を尋ねた海舟に対し、万次郎は、「アメリカでも木の葉は青く、人間は足で歩く。ただ、あの国では、高い身分、位についた者は、いよいよ賢く考え、振る舞いはいよいよ高尚になる。日本とは天地の違いだ」と答えたという。

童門冬二は『ジョン万次郎と海舟』の中で、”咸臨丸でアメリカに渡った海舟が、帰国後、老中たちにアメリカの印象を語れといわれ、「そうですな、日本のように能なしが高位高官の座を占めているようなことは、アメリカには全くありませんな」と答えて、「この無礼者」と怒鳴りつけられている”というエピソードを紹介したあと、”これは勝の偽らざるアメリカ観であったかもしれないが、実はこの勝のことばは、渡米以前に勝が万次郎からきいたものである”として前述の勝と万次郎のやりとりを紹介している。

（「中浜万次郎集成(川澄哲夫編著)」より抜粋）

ジョン万ハウスに展示されている
勝麟太郎（海舟）肖像写真

中浜万次郎生誕地記念碑

中浜万次郎生誕地記念碑（土佐清水市中浜）

中浜万次郎の生誕地、土佐清水市中浜にある中浜万次郎生誕地記念碑は、２００２年に万次郎の帰郷１５０周年を記念して建てられました。記念碑の表には中浜万次郎の写真と捕鯨船の絵が最新技法で石版に写されており、裏面にはジョン万次郎研究家畑山昌弘さんの万次郎とその不屈の精神を讃える文章が彫られています。是非、尋ねてみて下さい。

記念碑の除幕式での中濱博ご夫妻

土佐清水市姉妹都市友好協会ニュース

姉妹都市友好協会の事業・行事予定などをお知らせします。

☆姉妹都市スポーツ交流

※土佐清水市姉妹都市友好協会補助事業

スポーツを通じて姉妹都市の交流と相互の文化理解を深めることを目的に、土佐清水市と豊見城市の少年野球チームは毎年春と夏に相互に訪問し野球を通じた姉妹都市交流を行っています。今年度も春の事業として、土佐清水市から少年野球チーム選手１９名、スタッフ７名、合計２６名が豊見城市で行われた「第８回教育長杯（ジョン万カップ）少年野球大会」に参加しました。

４月２日から５日までの日程で豊見城市を訪問した選手たちは、３日に行われた第８回教育長杯（ジョン万カップ）少年野球大会で土佐清水ブルーマリンズが土佐清水市チームとして見事に３年ぶり３回目の優勝を飾りました。また、その後の交流会では豊見城市の関係者の盛大な歓迎を受けました。また、４日と５日には「沖縄美ら海水族館」（海洋博記念公園）や「琉球村」、「土佐の塔」などを訪れ、沖縄の歴史や文化を学習しました。

４月２１日に行われた報告会で、西村市長を前に子どもたちは「優勝できてよかった。」「沖縄の文化を教えてもらったので、夏には土佐清水のことをたくさん教えてあげたい。」など、感想を話しました。

第８回教育長杯（ジョン万カップ）少年野球大会

優勝した土佐清水ブルーマリンズ

☆米国姉妹都市高校生が来清予定

※土佐清水市姉妹都市友好協会補助事業

フェアヘーブン高校（清水高校と姉妹校）

本年７月の終わりから８月上旬にかけて、米国姉妹都市の高校生が土佐清水市を訪れる予定で、現在、清水高等学校では受け入れの準備が進められています。

これは、米国姉妹都市で清水高校生のホストファミリーとなっていただいた家族の中から、今度は自分たちが土佐清水市を訪問したいとの要望があり、米国姉妹都市委員会の協力により実現したものです。高校生７名、引率者５名、計12名の訪問団は、７月３１日に日本に到着し、８月１日に土佐清水に入り、８月１１日の夜、清水を離れ、１２日に米国に戻る予定です。

なお、清水高校では米国姉妹都市高校生たちのホストファミリーになっていただける方を募集しています。希望される方は、姉妹都市友好協会（市役所企画広報室内）までご連絡下さい。

また、清水高校生姉妹都市派遣事業は８月１３日に土佐清水を出発、約２週間、米国姉妹都市に滞在します。

姉　妹　都　市　ミ　ニ　情　報

◎　米国姉妹都市ニューベッドフォードにある捕鯨博物館では、本年4月から来年4月まで日米友好150周年を記念し、特別展「太平洋の出会い　アメリカ捕鯨、万次郎、そして日本開国」が開催され、日米の捕鯨に関する資料等を展示しています。本市からも「池文書」（市指定文化財）の一部が展示されています。